

石川地方憲法講演会に120名参加

佐高 信さんを講師に「統一教会と自民党の改憲ウィルス」と題した、石川地方憲法講演会を4月30日、石川町共同福祉施設ホールにおいて開催し、石川地方内外から120名の参加者がありました。

講演では、統一教会の要素は反共と日本憲法嫌い。自民党には石橋・宮沢などの護憲と岸・安倍などの反共・改憲の二つの流れがある。岸・安倍など改憲派と統一教会の密な関係、維新と統一教会の関係、岸田に統一教会を解散する気がないのは統一教会の被害を知らないから、広島サミットで原爆を話さない岸田晋三（岸田と安倍を比喻）にアメリカの言う事を聞くのが政治なのかと問い、「**武器で平和は保てない、命は守れない**」と言った**中村哲を選ぶのか、岸田（晋三）を選ぶのか**、と訴えられ、自民党改憲派と統一教会の長期で密接な関係が現在の政治情勢を作り出している。二世議員は「神輿」に過ぎず、それを担ぐ人々の利権のためにある自民党の世襲議員の問題や権力を批判しないメディアの弱腰など、今日の課題について指摘されました。

参加者からも、憲法と世襲問題や統一地方選の維新と統一教会の関係とか参政党などについて質問を受けるなど、有意義な後援会になりました。

今、憲法講演会は、石川地方平和フォーラム・石川地方憲法をまもる会・社民党石川総支部の3者で「石川地方憲法講演会実行委員会」を結成し、取り組みを進めたことが講演会の成功につながったことを、実行委員会総括会議で確認されました。